第３次
三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略
概要版

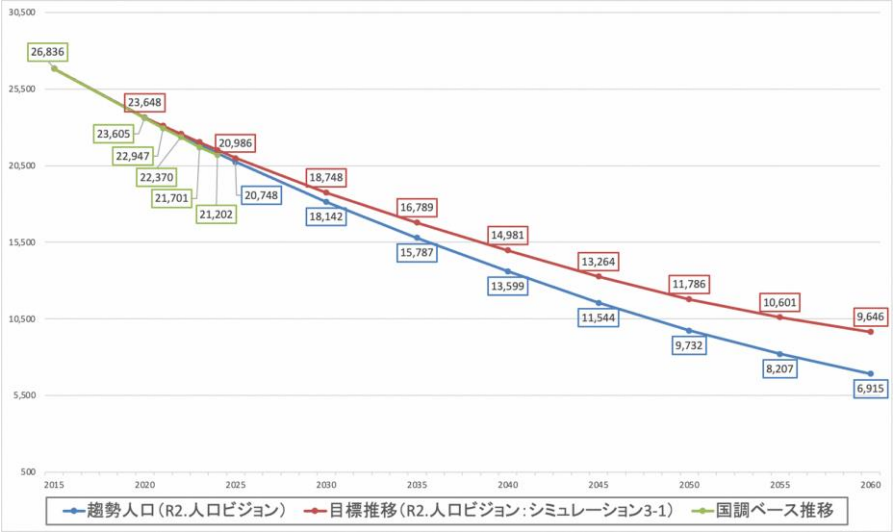
２０２５年3月

三好市　地方創生推進課

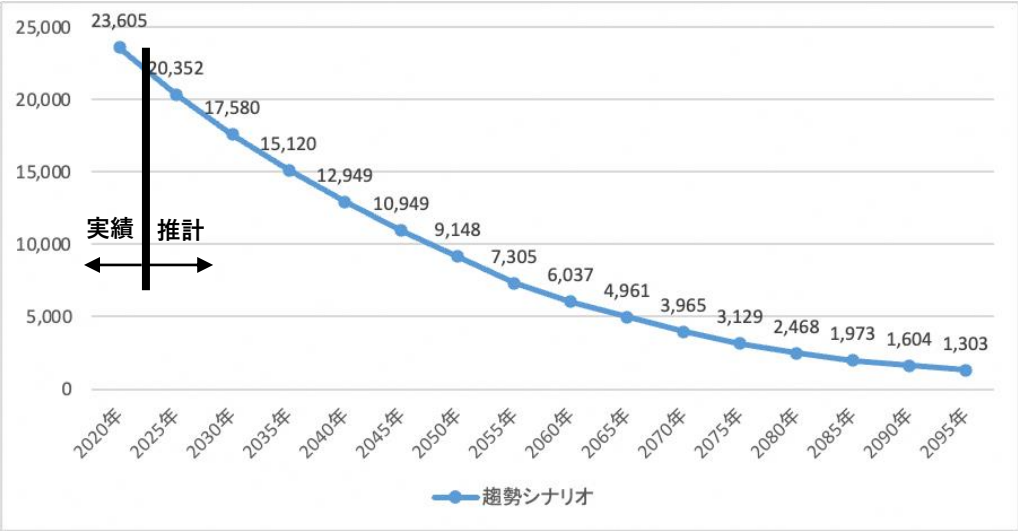
■三好市 人口ビジョン（2025年改訂版）

三好市人口ビジョン（2020年版）を策定した2020年以降の人口動向や社人権推計を踏まえ、今後想定される将来人口（趨勢人口）を推計すると、2040年には10,000人台、2060年には6,000人台、さらにそれ以降も人口減少傾向はとどまらず、2095年には1,300人程度まで減少することが想定されます。

《三好市の人口動向》



《三好市の趨勢人口推計》



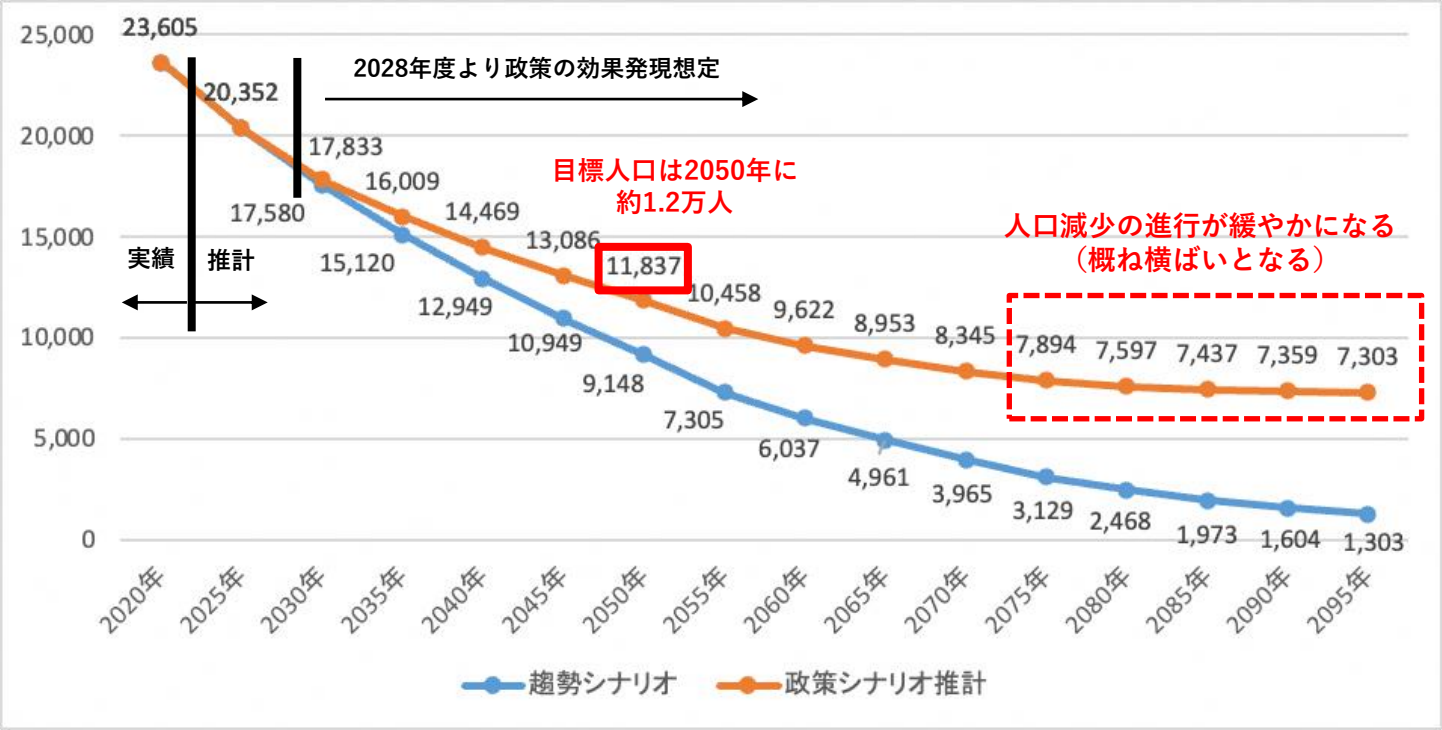
地区別趨勢人口では、2095年時点において山城地区、東西祖谷地区で特に顕著な人口減少が見込まれます。

《三好市の地区別趨勢人口推計》

	三野地区				池田地区				山城地区				井川地区				東祖谷地区				西祖谷地区				地区全体			
	2020年		2095年		2020年		2095年		2020年		2095年		2020年		2095年		2020年		2095年		2020年		2095年		2020年		2095年	
単位：人	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0～4歳	50	25	3	3	141	157	4	4	19	19	0	0	41	34	1	1	2	1	0	0	7	6	0	0	260	242	8	7
5～9歳	72	66	5	5	208	178	5	5	28	29	0	0	53	40	1	1	5	3	0	0	2	8	0	0	368	324	11	11
10～14歳	77	88	6	6	197	181	7	6	27	38	0	0	66	53	1	1	14	8	0	0	8	13	0	0	389	381	14	14
15～19歳	83	77	5	6	189	129	7	6	35	27	0	0	75	69	2	1	5	3	0	0	15	11	0	0	402	316	14	14
20～24歳	55	54	3	4	126	112	4	4	32	25	0	0	33	29	1	1	1	0	0	0	4	4	0	0	252	224	9	8
25～29歳	56	55	4	4	173	141	5	4	30	17	0	0	39	44	1	1	9	5	0	0	7	4	0	0	314	266	11	9
30～34歳	57	62	5	5	209	208	6	5	50	26	0	0	46	58	1	1	13	14	0	0	10	7	0	0	385	375	12	10
35～39歳	98	75	6	5	274	244	9	7	51	50	0	0	74	74	1	1	12	3	0	0	18	21	0	0	527	467	16	13
40～44歳	121	115	8	7	311	257	12	9	66	62	0	0	86	71	2	2	14	10	0	0	18	18	0	0	617	533	22	18
45～49歳	79	106	10	8	283	297	15	12	67	74	0	0	80	105	2	3	28	19	0	0	13	19	0	0	550	621	29	23
50～54歳	128	143	12	9	324	277	16	11	70	78	0	0	78	88	2	3	19	17	0	0	16	19	0	0	636	623	31	23
55～59歳	135	149	14	10	361	363	17	12	107	89	0	0	92	106	3	3	36	36	0	0	25	21	0	0	757	765	34	25
60～64歳	182	177	14	10	481	485	17	13	152	147	1	0	130	141	3	5	67	57	0	0	59	49	0	0	1071	1056	35	28
65～69歳	220	194	18	14	557	590	23	19	185	157	1	0	166	149	4	6	84	50	0	0	54	54	0	0	1267	1194	47	40
70～74歳	169	145	22	19	552	542	30	27	179	151	2	1	150	168	6	8	58	60	0	0	47	43	0	0	1156	1109	60	55
75～79歳	95	136	28	15	357	445	43	50	113	128	3	1	78	122	8	10	28	56	0	0	32	37	0	0	704	924	82	76
80～84歳	102	162	31	29	282	475	56	54	91	160	4	1	100	171	11	13	49	80	0	0	33	60	0	1	657	1108	103	98
85～89歳	74	157	25	34	252	484	45	45	64	176	2	2	75	140	11	19	39	50	0	0	23	45	0	1	527	1052	84	100
90歳以上	51	132	24	16	133	465	26	20	42	125	3	1	30	109	5	13	19	46	0	0	5	30	0	0	280	907	59	50
合計	1,907	2,120	245	205	5,410	6,031	350	313	1,408	1,579	17	8	1,494	1,771	66	93	502	518	1	0	396	469	2	3	11,117	12,488	681	622

■三好市 人口ビジョン（2025年改訂版）

当人口ビジョンにおいては、多様な暮らしを支えるコミュニティが維持される持続可能な三好市の実現に向けて、長期（2095年）に人口減少が限りなく穏やかになり、各地域に一定の人口規模が維持される水準について、将来人口シミュレーション（政策シナリオ推計）を実施しました。
その結果、**毎年市全体で『25-29歳の男性・女性、0-4歳1名』38組の転出抑制（又は転入促進）**が達成されるとこの水準に至り、当政策シナリオ推計における2050年人口約1.2万人を当人口ビジョンの目標人口と設定しました。



《政策シナリオ推計》
人口減少の進行を可能な限り緩やかにし、市内の多様なコミュニティの維持に向けて
毎年、市全体で『25-29歳の男性・女性、0-4歳1名』38組の転出抑制（又は転入促進）

目標人口：2050年に約1.2万人

必要となる施策・事業を総合戦略に位置付け

１．戦略の位置付け

国や県の総合戦略を勘案し、三好市の第２次総合計画・各個別計画とも整合を図りながら、人口減少対策と将来にわたり活力あるまちづくりを推進するための目標・施策等をまとめたものとして位置づける。

２．戦略の期間

第３次総合戦略の計画期間は、2025年度から2029年度までの5年間とします。

３．戦略における基本方針

「市内のどのエリアにおいても、そこに暮らす人々が幸福感を持ちながら生活できる三好市」を将来にわたって維持するために、人口減少の進行を可能な限り緩やかにし、人口減社会に適合した持続可能なまちづくりを推進することを基本方針とします。

４．戦略における目標人口

三好市人口ビジョン（2025年改訂版）における人口の将来展望を踏まえ、2050年時点で人口目標として、約1.2万人とします。この目標を達成するために、「市全体で毎年『25～29歳の男性・女性、0～4歳1名』38組の転出抑制（又は転入促進）」を人口減少対策の具体的な目標と設定します。

５．戦略のコンセプト

マチ・サト・ソラの暮らしで　私らしく輝く

６．主要ターゲット

①若年女性（20歳～30歳代）

《取り組みイメージ》

・若年・子育て世代が暮らしやすい環境づくり、就職・転職・結婚を機とするUIJターン促進　等

②子育て世代（30歳～40歳代 子連れ世帯）

《取り組みイメージ》

・子育てと仕事が両立しやすい環境づくり、医療・子育て環境の充実、住みやすい住環境の支援　等

③若年層全般（18歳～40歳代全般）

《取り組みイメージ》

安心して暮らせる環境づくり、個々のライフスタイルに合わせた住環境の支援　等

７．幸福度の高いまちづくり推進の視点

人口減少社会・成熟社会においては、市民一人ひとりの価値がこれまで以上に高まっていくことが考えられ、市民がどのエリアにおいても幸福感を持ちながら暮らせるまちづくりを推進することが重要です。持続可能なまちづくりにおいては、「非地位財的な幸せ」を高めることがより重要と考えられます。幸福感に影響を与えると要素として、「４つの因子※」が提唱されており、幸福感を高めるためには、幸福感に関する状態を維持・向上させることに加えて、これらの因子を高める働きかけが重要と考えられます。第３次総合戦略では、これらの視点を踏まえます。

《幸せの4つの因子》

やってみよう因子：自己実現等に関する要素　　ありがとう因子：利他性、他人への感謝等に関する要素

なんとかなる因子：楽観生、自己受容等に関する要素　ありのまま因子：独立心、自分らしさに関する要素

※慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科ヒューマンラボ 前野隆司氏「幸せのメカニズム 実践・幸福学入門」講談社現代新書,2013参照

８．３つの基本目標

第３次総合戦略では、第２次総合戦略で掲げた５つの戦略目標を踏襲しつつ、３つの戦略目標に再編し、施策の充実・強化を図ります。また、人口減少の緩和等に向けて、各ライフステージ（市内在学時～進学・就職～新卒就職～結婚～出産・子育て～転職・起業～退職後）ごとに切れ目のない施策を展開していきます。

第2次総合戦略
《戦略目標Ⅰ》 働く場を創る三好
《戦略目標Ⅱ》 ひとを呼び込む三好
《戦略目標Ⅲ》 結婚・出産・子育ての希望を叶える三好
《戦略目標Ⅳ》 安心なくらし守り、地域をつなぐ三好
《戦略目標Ⅴ》 未来を見据えあゆむ三好

第3次総合戦略	基本テーマ（成果項目）	第2次からの主な充実･強化ポイント
《戦略目標Ⅰ》 ひとが集い、多様な働き方を実現する	転入促進	子育て中の市民を含む若年世代が働きやすく、暮らしやすい環境の充実を図ります。 また、市内の子どもたちが将来的に市内定住・Uターンを選択できるようキャリア教育の充実等に取り組みます。
《戦略目標Ⅱ》 暮らしやすい・子育てしやすいまちづくりを目指す	転出抑制	子どもを産み育てやすい環境の充実に向けて、子育てと両立しやすい就業・起業の支援や、子育て世代が安心して暮らせる仕組みの整備等に取り組みます。
《戦略目標Ⅲ》 一人ひとりの存在を尊重し、全世代のくらしを守る	生活機能の維持・生活の質の向上	人口減少が加速する中で、生活拠点施設やコミュニティのあり方の検討や機能の維持、地域活動・まちづくりの担い手の確保・参画促進等に取り組みます。

戦略目標1 ：ひとが集い、多様な働き方を実現する三好

三好市ならではの多様な働き方や暮らし方を支援し、「自分らしく暮らせるまち」としてブランディング・プロモーションを強化します。また、若年層の多様な働き方のニーズに応じた雇用機会の創出と就業マッチングの促進、起業支援、住まいの確保等を通じて転入促進を図ります。さらに、市内の子どもたちが将来的に三好市に定着し、Uターンを促進できるよう郷土愛の醸成やキャリア教育の充実等にも取り組んでいきます。

- ✓ **基本テーマ（成果項目）：転入促進**
- ✓ **主なターゲット：若年女性、子育て世代**
- ✓ **最終成果指標・目標：UIJターン者数　1400人（5年間）**

施策テーマ	目標指標	施策の方向性	施策事項
IJターン促進（ライフスタイル型）	・ファン人口（SNSフォロワー数等）11,500人以上（2029年度時点）	認知拡大	・子育てしやすい街のブランディング・情報発信　等
		関係人口の獲得・増加	・観光施設等への一時的労働者の受け入れ（ワーキングホリデイ、マッチングサービス活用等） ・ふるさと納税の強化・促進 ・地域課題解決に資する地域活動やプロジェクトへの参画機会促進　等
	・市内での起業・創業件数：各年2件 ・創業・空き店舗等再生支援事業補助金利用件数：各年6件	仕事・生業づくり（起業型）	・起業スキル支援 ・チャレンジを生み出す場・環境づくり等
	・市内既存企業への就職者数：各年30人 ・林業アカデミー受入数：各年5人 ・特定地域づくり事業派遣職員数：8人（2029年度までの5年間）	仕事・生業づくり（就業型）	・市内企業との就業マッチング ・市内企業への事業承継人材マッチング、継業支援 ・市内労働力の確保・強化（林業アカデミー等での人材育成・登用支援、外国人材の受入れ等） ・マルチワーク促進（特定地域づくり協同組合の推進等） ・リスキリング教育（在宅就労等の多様な働き方の実現等）　等
IJターン促進（引越型）	・空き物件の所有者・利用者間のマッチング件数：各年10件 ・お試し住宅利用からの定住者数：各年2件 ・三好地域木造住宅推進事業補助金利用件数（戦略目標Ⅱと共通目標）：各年10件	住まいの確保	・子育て世代を中心とした住居の支援 ・空き家バンクへの登録促進 ・空き家改修支援 ・木造新築住宅等の支援　　等
Uターン促進	・市内既存企業への就職者数	子どもたちの郷土愛醸成	・高校魅力化促進、義務教育での郷土愛教育
		市内企業への就職支援	・市出身者への情報発信・交流機会の提供 ・市内企業への高校生インターン実施　等
	・将来三好市に住みたいと思う学生の割合：18.3%（2024年 高校生アンケート結果）⇒36%（2029年度）	キャリア教育	・高校魅力化促進、義務教育でのキャリア教育　等
		親世代への普及啓発	・子どもたちの市内定住・Uターン促進に関する親世代への啓発　等

戦略目標2：暮らしやすい・子育てしやすい三好

三好市では若年層（18歳～49歳）の転出が多く、特に子どもを生み育てる世代の転出は、人口減少の進行に大きな影響を与えます。三好市で暮らし続ける人を増やしていくためには、「暮らしやすい、子育てしやすいまち」の実現が不可欠です。そのため、仕事と育児の両立支援、共助の促進、子育て環境の充実、教育の充実などに取り組んでいきます。

- ✓ **基本テーマ（成果項目）　：転出抑制**
- ✓ **主なターゲット：子育て世代**
- ✓ **最終成果指標・目標：若年層（20-49歳）の転出抑制**　※全人口に対する若年層転出者1.9%（2023年度）→1.8%（2029年度）

施策テーマ	目標指標	施策の方向性	施策事項
働きやすい就業環境の充実	「子育てと仕事や家事の両立ができている」と回答する子育て中の保護者の割合： 未就学児親：24.3% 小学生親：20.2% （三好市こども計画アンケート調査：2024年度） ⇒ 未就学児親：30% 小学生親：25%（2029年度時点）	子育てと両立しやすい就業・起業環境づくり	・幸福度の高い働き方に関する企業等への周知・協力依頼 ・リスキリング教育（在宅就労等の多様な働き方の実現）等
子どもを産み育てやすい環境の充実	「三好市は子どもを産み育てやすいまちだと思うか」と回答する子育て中の保護者の割合：45.1%（2024年度市民アンケート結果） ⇒ 56%（2029年度時点）	共助促進	・子育て関連サービスの情報発信・周知（認知拡大） ・子育て支援センターのサービス拡充 ・子育て親コミュニティの強化 ・子育て・支援体制の充実　等
		医療・子育て支援施設の利便性強化	・市施設の利便性向上 ・安心して出産できる支援　等
		三好らしい暮らしの充実	・子連れで楽しめる環境づくり　等
子育てしやすい多様な住環境の充実	三好市での現在の住まいが快適な住環境だと思うか ※2024年度市民アンケート ※現状 肯定意見 64.8%→70%（2029年度時点）	助け合える暮らし・住まいの確保	・子育て世代を中心とした助け合える暮らし・住居の支援　等
		空き家の活用	・空き家バンクへの登録促進 ・空き家改修支援　等
教育環境の充実	教育環境の整備に関する満足度 未就学児親：40.8%　小学生親：43.2% （三好市こども計画アンケート調査：2024年度） ⇒ 未就学児・小学校児童親ともに45%（2029年度時点）	教育環境の充実	・習い事・体験機会の提供強化 ・（一部地域での）デジタルツールを活用した教育・体験機会の提供 等

戦略目標3：一人ひとりの存在を尊重し、全世代のくらしを守る三好

三好市での多様な暮らしを維持し、市民が幸福感を持って暮らしていくためには、「幸福感」を構成する要素である身体的良好さ（安心・安全・快適性の担保等）、社会的良好さ（地域への誇り、コミュニティへの参画、良好な人のつながりの形成等）を保ちながら、自助・共助・公助を高めることが重要です。また、人口減少社会に対応し「マチ・サト・ソラ」の住環境の特性を踏まえた暮らしの維持を進めるために、市内全域での生活機能の維持や集落・コミュニティのあり方の検討、三好市固有の歴史・文化の継承、まちづくり人材の確保・育成等に取り組みます。

- ✓ **基本テーマ（成果項目）：生活機能の維持・生活の質の向上**
- ✓ **主なターゲット：若年層全般（全市民）**
- ✓ **最終成果指標・目標：市民幸福度の向上** ※現状、市民全体の幸福度 平均値6.7（2024年度市民アンケート）→7.2（2029年度）

施策テーマ	目標指標	施策の方向性	施策事項
集落等の今後のあり方の明確化	・これからも三好市に住み続けたいと思う市民の割合 ※肯定意見：58.7%（2024年度市民アンケート結果） ⇒ 62%（2029年度市民アンケート）	将来人口展望に基づくビジョンづくり、コミュニティの再検討	・集落コミュニティの今後のあり方の検討・戦略づくり ・コミュニティ・生活基本機能の役割再編・調整・検証 等
生活機能維持		生活基礎機能の維持 交通手段の確保	・生活サービスのデジタル化実証 ・鳥獣害対策の強化 （担い手育成、ジビエ肉活用推進等） ・乗合タクシー運行のエリア拡大 等
歴史・文化の維持継承		多様な担い手の確保等による持続性の高いスキーム構築	・関係人口受入等による文化的行事の継続支援 ・景観を守り活かす人材育成事業 等
まちづくり人材の確保・育成	・地域づくりへの参画を重要と考える市民の割合 ※肯定意見：66.8%（2024年度市民アンケート結果） ⇒ 72%（2029年度市民アンケート調査）	市民の活動量の増加	・市民のまちづくり参画促進 ・国の制度等の活用（地域おこし協力隊制度等を活用した人材確保強化・スキル支援） 等